

クラウドファンディングでの支援募集【第4弾】を開始しました

公益財団法人 松竹大谷図書館では、平成 24 年の第 1 弾より、一昨年の第 2 弾、昨年の第 3 弾に引き続きまして、当館運営費及び所蔵資料のデジタル化費の募集を目的とした『【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。』プロジェクトを、9 月 8 日(火)より、クラウドファンディングサイト「READYFOR(レディーフォー)」にて開始いたしました。

本館は常に財政が厳しく、平成 24 年、専門図書館としては初めて、運営資金を募集するためのクラウドファンディングプロジェクトを「READYFOR」で実行しました。以来、昨年まで合わせて3回のプロジェクトを実行し、いずれも目標金額を達成し、これまでに合計で、約 1,000 万円の資金調達に成功しています。

そして、今年も「第4弾」として、支援募集のプロジェクトを、昨年と同様、クラウドファンディングサイト「READYFOR(レディーフォー)」で実行します。

プロジェクト名

『【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。』

■募集期間 平成 27 年 9 月 8 日(火)～10 月 28 日(水)【50 日間】

■目標金額 250万円 ・図書館の平成 27 年度運営資金:150 万円
・GHQ検閲歌舞伎台本」300 冊のデジタル化費用:100 万円

■募集金額設定 一口 3,000 円/5,000 円/10,000 円/30,000 円/50,000 円



【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。

by 武藤祥子

観る事が叶わない過去の舞台、映像が失われた映画。貴重な記憶をとどめる台本やプログラムを保存する、演劇と映画の専門図書館・松竹大谷図書館の運営資金募集と、所蔵する300冊以上のGHQ検閲歌舞伎台本をデジタル化し、次世代へ引き継ぐプロジェクト。



外表紙の端が破損した検閲台本

目標金額のうち、150 万円は平成 27 年度の当館の運営資金です。これに、当館が所蔵する、「GHQ検閲歌舞伎台本」300 冊のデジタル化の費用 100 万円を合わせて、合計 250 万円としました。

昭和 20[1945]年から昭和 24[1949]年にかけてGHQにより検閲が行われた「GHQ検閲歌舞伎台本」は、経年劣化で、特に認可番号印が押された外表紙の破損がひどく、利用されるたびに壊れつつあります。この日本戦後史の証人である資料を、これ以上劣化が進む前に、デジタル化による画像の閲覧使用に切り替え、原資料を保護したいと考えています。皆様のご支援の力をお借りして、デジタル化をすすめ、演劇史上重要な資料を守り、後世に伝えていきたいと思ひます。

ご支援いただいた方には、支援金額に応じてリターン(お礼の品)をご用意しました。当プロジェクト限定オリジナル文庫本カバーや、所蔵する歌舞伎・映画台本のうち 210 タイトルの中から支援者にお好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)に支援者のお名前を載せる権利など、趣向を凝らしたリターンを設定しております。

ご理解ご賛同いただけるようでしたら、ご支援賜りますようお願い申し上げます。ご友人などお知り合いの方にも、広めていただければ、幸いです。



「歌舞伎台本」文庫本カバー[左]
「映画台本」文庫本カバー[右]
※大きい方は本物の台本文庫本カバーは見本

くわしくは、下記の URL または上部 QR コードからプロジェクトページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan4>

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトで集める支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため寄附者への税制の優遇措置は受けられません。

■ 演劇雑誌 ■

- 『AAC』2015年Vol. 85
- 『DRAMAかながわ』2015年(72号)
- 『J A T E T』創刊号(1号)~No. 72, No. 77
- 『J A T E T JOURNAL』Vol. 1~Vol. 4
- 『the座』2015年85号
- 『あぜくら』平成27年8月号
- 『アクチュール・ステージ』Vol. 6
- 『シアターガイド』2015年10月号
- 『ジョイン』2015 Jul. No. 84, 上演記録に関する調査研究報告書正会員団体上演記録(2014年1月~12月), 上演記録に関する調査報告書正会員団体上演記録〔学校公演〕2014年
- 『テアトロ』2015年9月号
- 『ラ・アルプ』2015年9月号
- 『演劇界』2015年9月号
- 『花びし』平成27年夏号153号
- 『喝采』2015年12月
- 『義太夫』101号
- 『国立演芸場公演ガイド』平成27年9月号
- 『上方芸能』2015年9月
- 『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』9号
- 『大向う』平成27年8月号
- 『伝統文化新聞』2015年(111号)
- 『日本演劇興行協会会報』創刊号, 2号, 6号, 10号, 11号
- 『日本芸術文化振興会ニュース』平成27年9月号
- 『日本照明家協会誌』2015年8月号
- 『日本舞踊』67巻9月号
- 『悲劇喜劇』2015年9月号
- 『邦楽の友』平成27年9月号

■ 映画雑誌 ■

- 『FLIX』2015年10月号
- 『NFCニューズレター』2015年8月~9月号
- 『SCREEN』2015年10月号
- 『キネマ旬報』2015年9月上旬号
- 『シナリオ』2015年10月号
- 『シナリオ教室』2015年9月号
- 『シネ・フロント』2015年7月号
- 『ドラマ』2015年9月号
- 『ピクトアップ』2015年10月号
- 『映画テレビ技術』2015年9月号
- 『映画ビジネス』平成27年7月下旬号
- 『映画撮影』2015 Aug No. 206
- 『映画秘宝』2015年10月号
- 『衛星劇場プログラムガイド』2015年9月号
- 『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No. 31
- 『黒澤明研究会誌』2015年33号
- 『日経エンタテインメント!』2015年9月号
- 『文化通信ジャーナル』2015年9月号

■ 松竹系 8月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『おちくぼ物語』	○			
	『棒しばり』	○			
	『ひらかな盛衰記 逆櫓』	○		○	○
	『銘作左小刀 京人形』	○			
	『芋掘長者』	○			
	『祇園恋づくし』	○			
新橋演舞場	『もとの黙阿弥 浅草七軒町界限』			○	○
	『喜劇 有頂天旅館』			○	○
松竹座 (大阪)	『少年たち』	○		○	
南座(京都)	『駕籠や捕物帳』	○			
	『しぶちん』	○		○	○
	『五木ひろしミュージックライブ』				
新国立劇場中劇場	『ドリアン・グレイの肖像』			○	○
大阪新歌舞伎座	『新・水滸伝』	○		○	
中日劇場・オリックス劇場	『地球投五郎宇宙荒事』	○		○	
巡業	『錦絵 夏すがた』			○	
	『明日の幸福』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂ACTシアター	7月	『ミュージカル サンセット大通り』台本
赤坂RED/THEATER	7月	東京マハロ『女は過去でできている』プログラム
	8月	プリエールプロデュース『霧島の花嫁』プログラム
あうるすぽっと	7月	子供のためのシェイクスピアカンパニー『ロミオとジュリエット』プログラム
オーチャードホール	8月	『音楽劇 青い種子は太陽のなかにある』プログラム
神河町グリンデルホール	7月	『人情喜劇 銀の馬車道』プログラム
近鉄アート館	7月	『あべの歌舞伎 晴の会』プログラム
国立劇場小劇場	8月	『松尾塾子供歌舞伎2015』プログラム 『小学生のための歌舞伎体験教室発表会』プログラム 『研の會』プログラム 『第一回双蝶会』プログラム
国立能楽堂	8月	『第二回翔の會』プログラム
国立文楽劇場	8月	『第二十五回上方歌舞伎会』プログラム、台本
ザ・スズナリ	7月	玉造小劇場『ひとり、独りの遊戯』台本
シアタークリエ	7月	『ソング・ライターズ』プログラム
渋谷区伝承ホール	7月	中村京蔵×SOUMU『三國妖狐譚』プログラム
下北沢シアター711	8月	大森COMPANY PROJECT『SARACHI111』プログラム
下北沢小劇場B1	7月	名取事務所『壊れた風景』プログラム、台本
SPACE雑遊	8月	演劇集団砂地『唄わない冬』プログラム
スタジオM	7月	劇団民藝『卵の中の白雪姫』台本
青年座劇場	7月	劇団青年座『外交官』台本
セース・フルリ	8月	花組HON-YOMI芝居『かもめ』台本
中日劇場	8月	『南の島に雪が降る』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	8月	『気づかいルーシー』プログラム
東京国際フォーラム	7月	青山メインランドファンタジースペシャル『ピーターパン』台本
日経ホール	7月	『尾上菊之助歌舞伎舞踊公演』プログラム
仲代劇堂	7月	無名塾『バリモア』プログラム
俳優座劇場	7月	劇団銅鑼『からまる法則』プログラム、台本
博品館劇場	7月	HYBRID PROJECT『ヌーベルバーグ』プログラム 『ジャンクション』プログラム 『夏休みこども舞踊フェスティバル』プログラム 『スコア!』プログラム
	8月	『壊れた恋の羅針盤』プログラム
パルコ劇場	7月	パルコ・プロデュース『マクベス』プログラム
プーク人形劇場	7月	人形劇団プーク『しりたがりやのゾウさん』プログラム
三鷹市芸術文化センター星のホール	7月	土田英生セレクション『算段兄弟』プログラム
明治座	8月	『志村魂「一姫二太郎三かぼちゃ」』プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『日本のいちばん長い日』	○	○	○		○
『ビッグゲーム 大統領と少年ハンター』	○	○	○		
『たまゆら memories 3年生・夏』	○				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『死霊高校』

■ 書 籍 ■

『日本芸術文化振興会年報 平成25(2013)年度』	日本芸術文化振興会	
『忘れられた演劇』	神山彰(編)	森話社
『能はこんなに面白い!』	観世清和+内田樹(著)	小学館
『俺の喉は一声千両 天才浪曲師・桃中軒雲右衛門』	岡本和明(著)	新潮社
『優秀新人戯曲集 2015』	日本劇作家協会(編)	ブロンズ新社
『OMS戯曲賞vol.20』	大阪ガスビジネスクリエイティブ内OMS戯曲賞事務局	
『歌舞伎日録 二〇〇九年から二〇一三年まで』	渡辺保(著)	
『近世中期歌舞伎の諸相』	佐藤知乃(著)	和泉書院
『十八代目中村勘三郎の芸 アポロンとディオニソス』	山本吉之助(著)	アルファベータ
『七代目市川團十郎の史的研究』	木村涼(著)	吉川弘文館
『十二代目市川團十郎』		演劇出版社(発行)、小学館(発売)
『中村勘三郎 最期の131日 哲明さんと生きて』	波野好江(著)	集英社
『KABUKI : COSTUMES DU THEATRE JAPONAIS JAPANESE THEATER COSTUMUES』		
Fondation PIERRE BERGE YVES SAINT LAURENT [ピエール・ベルジェ イヴ・サンローラン財団]		
『映画ビジネスデータブック2010-2011 キネ旬総研白書』	キネ旬報映画総合研究所(企画+編集)	キネマ旬報社
『映画・映像産業ビジネス白書2012-2013』	キネ旬報映画総合研究所(編)	キネマ旬報社
『日本劇映画作品目録 平成25年』		日本映画製作者連盟
『映画年鑑 2015』		時事映画通信社
『チェコの映画ポスター テリー・ポスター・コレクションより』		
東京国立近代美術館フィルムセンター+京都国立近代美術館(編)	国立美術館+東京国立近代美術館+京都国立近代美術館	

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2015年6月~7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、新歌舞伎座、常磐津節保存会、オペラシアターこんにゃく座、西岡琢也、株式会社日本舞踊社、文学座、関西・歌舞伎を愛する会、国立劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、日本映画テレビ技術協会、シナリオ・センター、銀座 博品館劇場、一般社団法人日本民間放送連盟、ファーンウッド、演劇出版社、劇団四季、ロングランプランニング株式会社、神崎えん、アーティストジャパン、劇団青年座、スイセイミュージカル、愛知芸術文化センター、明治座、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、キネマ旬報社、国文学研究資料館、帝国劇場、ディアゴスティーニ・ジャパン、岡崎哲也、丸善出版株式会社、東宝株式会社、劇団民藝、伝統文化新聞、公益社団法人日本照明家協会、博多座、新鷹会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、(株)近代映画社、パルコ劇場、若林さだ吉、フィルムセンター、七世中村芝翫、山本斐子、劇団昴、音楽座ミュージカル、銀座百店会、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、最上敏信、早稲田大学演劇博物館、邦楽の友社、おもだか会、無声映画鑑賞会、俳優座劇場、シアタークリエ、(有)アゴラ企画、大野彩、前進座、(株)松竹サービスネットワーク、劇団銅鑼、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、関西常磐津協会、流山児★事務所、東京都江戸東京博物館、日本映画テレビプロデューサー協会、映画論叢、寺本佳照、日本近代文学館、特定非営利活動法人京劇中心、岩波ホール、歌舞伎学会、社団法人日本演劇協会、公益社団法人日本演劇興行協会、キョードーファクトリー、和田尚久、人形劇団プーク、劇団俳優座、文芸春秋、劇団ワンツーワークス、集英社、玉造小劇場

どうもありがとうございました

「松竹創業 120 周年[中期：1936-1975]」展

展示期間：2015 年 8 月 31 日～10 月 28 日／於 閲覧室

松竹創業 120 周年の今年、松竹大谷図書館では先月までの展示「松竹創業 120 周年 [前期：1885-1935]」展に引き続き、昭和 11 [1936] 年～昭和 50 [1975] 年にスポットを当て、松竹の歴史をご紹介します。この 40 年の間には日中戦争や第二次世界大戦などがありました。激動の時代を、日本もそして松竹もまさに生き抜いた、そんな時代でした。

現在、松竹大谷図書館の閲覧室奥にひっそりと佇む展示ケースは、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、第 4 期の歌舞伎座のロビーで実際に使われていたものです。

そのガラスケースの上段には“映画”の資料を、そして下段には“演劇”の資料を展示しています。

“映画”は、日本の映画史をそのまま見ているような豪華な名作の数々。『君の名は』『東京物語』『男はつらいよ』など、誰もがきっと一度は耳にした、目にしたことがある名作ぞろいの時代を、14 枚のスチール写真でご覧いただけます。

映画の宣伝のために作られる「プレスシート」は、解説やあらすじ、みどころなどを伝えるほかにも、当時はポスターのようにしても使われていました。色鮮やかなものも数多くあるので、今回は一部ですが、色とりどりの「プレスシート」を縮小して複製を作り、看板風に仕上げてみました。松竹映画の魅力をそこでも楽しめるのではないのでしょうか。

一方“演劇”は、戦況悪化による大劇場閉鎖命令や、空襲でいくつもの劇場が焼失し、終戦後も GHQ による上演台本の検閲・上演制限などに見舞われる不遇な時代が続きます。しかしそんな苦境にあっても、歌舞伎、松竹新喜劇、曾我廼家喜劇、文楽、松竹歌劇団 (SKD) が力を合わせて乗り越えてきました。そのバラエティに富んだ演劇と、歴史が垣間見える「GHQ 検閲歌舞伎台本」なども一目でご覧いただけます。

時代の記憶をそのまま今に伝える “生” の資料を見に、ぜひ、松竹大谷図書館へお越し下さい。



写真)：昭和 39 [1964] 年の東京オリンピックにちなんで開催された「ナイト・カブキ」のプログラム

《年表》(※●【数字】は展示の資料番号)

昭和11[1936]年	1月16日＝大船撮影所開所。蒲田から 10 日かけて移転。[●【1】スチール 大船撮影所] 4月・5月＝九代目市川團十郎と五代目尾上菊五郎の胸像建設を記念し、第1回“團菊祭”を開催。 [●【15】プログラム [歌舞伎座](昭和 11[1936]年 5 月)]
昭和12[1937]年	4月＝松竹興行株式会社と松竹キネマ株式会社を一体化し、松竹株式会社設立。 7月3日＝浅草に、定員 4059 人の国際劇場が開場。松竹少女歌劇で披露興行。
昭和13[1938]年	9月15日＝映画『愛染かつら』(野村浩将監督)封切。前・後篇に続き、続篇・完結篇も製作。[●【2】スチール [左より]上原謙、田中絹代]
昭和14[1939]年	10月24日＝映画『残菊物語』(溝口健二監督)封切。後に第1回文部大臣賞受賞。 12月1日＝映画『暖流』(吉村公三郎監督)封切。
昭和15[1940]年	1月＝新橋演舞場の経営を始める。曾我廼家喜劇で開幕。
昭和17[1942]年	2月＝『赤穂余禄 春の霜』(歌舞伎座)上演。本作がこの年の情報局総裁賞を受賞。
昭和19[1944]年	3月＝戦況の悪化による大劇場の閉鎖命令で、歌舞伎座、東京劇場を始めとする19劇場が休場。 3月31日＝松竹少女歌劇団を一旦解散。「松竹芸能本部女子挺身隊」編成。 4月＝新橋演舞場、南座など、6劇場の営業再開。 12月7日＝映画『陸軍』(木下恵介監督)封切。[●【3】スチール[中央]田中絹代]
昭和20[1945]年	1月27日＝新富町の松竹本社に焼夷弾が直撃。 3月＝各地の大空襲で、国際劇場、中座などを失い、甚大な被害を受ける。 4月＝海軍省の委託で作られたアニメーション映画『桃太郎 海の神兵』(瀬尾光世監督)が封切。[●【4】スチール] 5月25日＝空襲で歌舞伎座を失い、新橋演舞場も外壁を残し焼失。 8月30日＝映画『伊豆の娘たち』(五所平之助監督)が、戦後封切第1作。 10月11日＝映画『そよかぜ』(佐々木康監督)封切。挿入歌「りんごの唄」が大ヒット。 [●【5】スチール [左より]並木路子、佐野周二] 10月＝松竹少女歌劇団が、「松竹歌劇団(SKD)」と改称し、再出発。

昭和22[1947]年	11月＝GHQの演劇検閲官フォービアン・パワーズ氏の尽力で、戦後初の『仮名手本忠臣蔵』通し上演。[●【16】GHQ検閲台本 [東京劇場](昭和 22[1947]年 11月) ●【17】スチール [東京劇場](昭和 22[1947]年 11月)、『仮名手本忠臣蔵』[左より]二代目河原崎権十郎、七代目松本幸四郎、三代目中村時蔵] 11月23日＝戦災で焼け落ちた国際劇場が復興。SKD『ラッキー・スタート』で再開場。
昭和24[1949]年	9月19日＝映画『晩春』(小津安二郎監督)封切。脚色・野田高悟とのコンビ第1作。 10月24日＝美空ひばりの初主演映画『悲しき口笛』(犬城巳代治監督)封切。[●【6】スチール 美空ひばり] 11月＝「松竹少女歌劇学校」が、「松竹音楽舞踊学校」と改称し、再スタート。
昭和25[1950]年	1月7日＝プロ野球チーム「松竹ロビンス」結成。セ・リーグの初代優勝を飾る。
昭和26[1951]年	1月3日＝第4期歌舞伎座の開場。[●【18】図書『KABUKI-ZA THEATRE』 ●【20】スチール 歌舞伎座(昭和 39[1964]年11月撮影)] 1月23日＝白井松次郎逝去。 3月＝歌舞伎座で『源氏物語』初演。[●【19】スチール [歌舞伎座](昭和 26[1951]年 3月)、『源氏物語』 [左より]九代目市川海老蔵、二代目市川笑猿] 3月21日＝日本初のカラー劇映画『カルメン故郷に帰る』(木下恵介監督)封切。[●【7】スチール [左より]高峰秀子、小林トシ子] 3月26日-5月22日＝SKDの『東京踊り』上演。この頃、東京名物に。[●【24】プログラム[国際劇場](昭和 26[1951]年3月) ●【25】スチール [国際劇場](昭和 28[1953]年 3月 14日-5月 25日)スリーパルズ[左より]深草笙子、草笛光子、明石月子]
昭和28[1953]年	7月1日＝日本初の3D映画『決闘』(田島恒男監督)封切。 9月15日＝映画『君の名は(第1部)』(大庭秀雄監督)封切。「真知子巻き」が流行するなど、3部作で空前の大ヒット。[●【8】スチール [左より]佐田啓二、岸恵子] 11月3日＝映画『東京物語』(小津安二郎監督)封切。文部大臣賞受賞。[●【9】スチール [左より]東山千栄子、原節子、笠智衆] 11月 10 日＝歌舞伎座初の天覧歌舞伎。昭和天皇と皇后両陛下が御観劇。
昭和29[1954]年	9月 15 日＝映画『二十四の瞳』(木下恵介監督)封切。[●【10】スチール [右]高峰秀子] 12月＝松竹歌劇団初の海外公演。タイ・バンコクのエムパイア・シアターへ。
昭和30[1955]年	11月3日＝3月の紫綬褒章に続いて、大谷竹次郎、文化勲章受章。
昭和31[1956]年	9月14日＝築地松竹会館が落成。[●【23】スチール 築地・船乗り込み(昭和 31[1956]年 8月 2日撮影)]
昭和33[1958]年	7月1日＝松竹会館9階に松竹大谷図書館が開館。
昭和34[1959]年	11月 17 日＝映画『愛と希望の街』(大島渚監督)封切。[●【11】スチール 藤川弘志]
昭和35[1960]年	5月27日-7月19日＝日米修好百年祭を記念して歌舞伎の渡米公演が実現。
昭和39[1964]年	10月8日-16日＝東京オリンピック開催中に、外国人向けの「ナイト・カブキ」開催。[●【26】プログラム[歌舞伎座](昭和 39[1964]年10月)]
昭和42[1967]年	8月＝ザ・ドリフターズの第1回主演映画『なにはなくとも全員集合！！』(渡辺祐介監督)が封切。[●【12】スチール [左より]いかりや長介、荒井注、高木ブー、仲本工事、加藤茶]
昭和44[1969]年	8月27日＝松竹の長寿シリーズの第1作目、映画『男はつらいよ』(山田洋次監督)封切。[●【13】スチール [左より]渥美清、光本幸子] 7月・8月＝新橋演舞場公演で、松竹新喜劇が連続35か月公演の記録を樹立。 12月27日＝大谷竹次郎逝去。
昭和46[1971]年	4月＝松竹新喜劇の新企画「リクエスト上演」が大当たり。[●【22】プログラム[中座](昭和 46[1971]年 4月)●【21】スチール[新橋演舞場](昭和 45[1970]年 7月)『愚兄愚弟』 [左より]藤山寛美、千葉蝶三朗、小島秀哉]
昭和47[1972]年	2月14日＝大谷竹次郎賞と松竹大谷図書館賞の創設を発表。
昭和49[1974]年	10月 19 日＝映画『砂の器』(野村芳太郎監督)封切。[●【14】スチール [左より]春田和秀、加藤嘉]
昭和50[1975]年	11月＝歌舞伎座で歌舞伎解説「イヤホンガイド」を開始。 7月4日＝東京劇場跡に、地下3階地上20階の東劇ビルが完成。 10月＝松竹の元会長・城戸四郎の名を冠した第1回城戸賞を発表。

次回展示は、「松竹創業 120 周年[後期：1976-2015]展」の予定です。

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に持続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2015（平成27）年8月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



どんどん資料を移動させていきます



資料を移動させた後の書架を、新たに移す資料のために拭いてきれいにします



歌舞伎座プログラムの合本を反対側の書架に移動させています

■ 編集後記
 ▼巻頭でお知らせしていますように、いよいよ第4弾のクラウドファンディングが始まりました。早いもので、今年で4回目です。今年も無事目標達成できそうですよ、スタッフ一同がんばります！
 ▼8月15日より8月31日まで、2週間の夏期特別整理休館の間に行った作業の一部をご報告いたします。今年の夏は、所蔵資料の増加に伴い、資料の大移動を、図書館のスタッフほぼ総出で行いました。その甲斐があつてか、予定よりも2日半ほど早く、作業を終えることができました。



● 利用案内
開館時間
 平日午前10時～午後5時
休館日
 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
 ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料
● 交通案内
 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

